

畜産業におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	牛を配置する作業中、牛と柵をつないでいたロープを片手でほどこうとしたところ、牛が突然後退したため、スタンション（牛の頸部を挟んで安定させるつなぎ止め具）が動き、間に右手が挟まれ、小指を負傷した。	21～9	1
1	16～17	トラックで運んできた牛を牧場内で降ろす作業をしている際、牛が暴れ出してしまい、被災労働者の右肩にぶつかって負傷した。	61～9	1
3	9～10	馬場にて騎乗調教中、馬が暴れたため落馬し、左足から落ちて左ひざ左足首を痛めた。	22～99	50
7	11～12	仕事のやり方について他の従業員と食い違いが生じ、口論となって揉み合いになり、牛の餌箱に倒れ込んだとき、餌箱の縁で左脇腹を強打し、肋骨を負傷した。なお、従業員同士の間には私恨はない。	34～9	1
9	6～7	牛舎搾乳場で搾乳中、乳牛の足が左手ひじの部分に当たりすり傷が出来た。その後、徐々に化膿が始まり左うでから手の甲にかけて腫れ、発熱した。後日受診し、抗生物質の投与が必要ということで、入院に到った。	27～9	1
9	15～16	馬場にて騎乗練習中に馬が暴走し、ラチに衝突し前方へ落馬。背中から地面に着地した為、背中・腰・左手（薬指）を強打し痛めた。	24～99	50
10	6～7	厩舎を出てコースへ向かう馬道で競走馬に騎乗しているときに馬が突然立ち上がり、騎乗したまま馬と一緒に後方へ転倒し馬の下敷になった。	34～	50

				99
11	14~ 15	堆肥センターにてペレット鶏糞の製造作業中、機械の点検時、誤って手を突っ込み、慌てて引き抜いた際に、鉄柱に右側頭部を強打したことによる脳震盪の発生及び受傷前後の記憶障害となった。	26	10 ~ 29
11	15~ 16	厩舎内廊下で、馬房へ馬を曳いている時に突然馬が立ち上がり、その際にバランスを崩し左足首を捻った。しばらく様子を見たが、痛みがあり腫れているので受診した。	30	50 ~ 99
12	15~16	厩舎内で競走馬の馬体チェックをしているとき、急に馬が暴れたので御そうとしたところ、馬の左後脚で右膝内側を蹴られた。しばらく様子を見たが痛みがあり、腫れていて動かすことができないので受診した。	33	50 ~ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)